

臨床研究名	当院における ICT (Infection Control Team)/AST (Antimicrobial Stewardship Team)活動の成果と課題・問題点
背景	ICT/AST の活動は、院内感染防止対策並びに感染症診療における耐性菌抑制と予後向上を両立させるための中心的役割を担っている。当院の ICT/AST も病院感染管理、耐性菌抑制、感染症患者の治療成績向上を目指して活動してきた。その活動結果を振り返り、今後の新たな活動指標とすることは重要なことと考えられる。
目的および方法	目的：当院の ICT/AST 活動がどのような成果をあげているのか、また課題・問題点を検討し、今後の ICT/AST 活動に反映させることである。方法：調査期間は 2014 年 4 月から 2019 年 3 月とし、後方視的に下記項目に該当するデータを抽出し、年度ごとに比較検討を行う。成果、問題点を特定するための評価指標は、プロセス指標として抗菌薬使用状況(AUD, DOT, AUD/DOT)、カルバペネム系抗菌薬の全抗菌薬に占める比率、バンコマイシン投与時の TDM 実施率、血液培養施行時の 2 セット採取率および届出を必要とする抗菌薬使用時の血液培養実施率、細菌培養検体提出数、AST 提案（介入）件数・提案（介入）に対する受諾率、アウトカム指標として耐性菌・緑膿菌発生率、antibiogram の推移、TDM によるバンコマイシン有効血中濃度達成率・副作用発現率、菌血症症例の 30-days mortality とする。
同意	観察研究 B1 に該当する研究です。大網病院院ホームページ内の感染防止対策指針に本研究内容をオプトアウトします。
添付資料	1. 8 学会合同抗微生物薬適正使用推進検討委員会：抗菌薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンス。日化療会誌 2017；65：650-687 2. 臨床研究の種類と規制

本臨床研究は、2019 年 7 月 17 日に開催された倫理審査委員会にて承認を得ました。